京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所　京城新報社

内外應酬

一記者

◎京城の婦人　京城の在住人に相應有る者は甚だ少ないことを前に記した。而して又資産を有する者も決して多くないのである、隨て生活難は他の地方に見られぬ程酷しいので、其の大多數を占める婦人は年々と苦痛を感ずるのである、故に彼等は外に向て何者かを求むる心が常に内に動いて居る、外に向つて求むる處有る者は放縱なる自我の念を抑制せざる可からざる場合が多い自我の念を抑制することは軈て社會に對する交渉開始の動機となるのである社會との交渉を有することは即ち其の野性と恣なる自尊心とを殺減せる證とすることが出來る、之れと同時に彼等は又其苦しき生活難の中に生命ある人世を朧氣ながら、殊に淺薄ながら望み得たるのである开を何かと云へば、生存競爭の劇烈なることや、優勝者の歡樂や、劣敗者の悲哀や、歡樂を擬し悲哀を解する時の力や、一として彼等をして目を睜らしめざるは無いのである、此に於て彼等は直ちに優勝者の歡樂を羨ひ之れを夢想して、彼等が初めて蠢れる時の力を賴みに未來を樂むの心が生じた、彼等が認めたる生命ある人世とは大概此の邊である、此の邊の事に過ぎないのであるが兎に角彼等に取りては大手柄と云はねばならぬ、去り乍ら彼等が歡樂を羨ふる心は少しも節制を育せぬのである、時の力を賴み思ふ未來は餘りに待遠しい、殊に諸般の社會事情の急轉が一時に彼等に浮華の氣を吹込んだので其が虚榮心は十分に煽り立てられざるを得ない、然るに其虚榮心を滿足せしめるべく女性に對する韓國の習俗は甚だ不便である、其の不便を匡救せんには其處に力を要するといふ一段となつた、扨て其の力は其處に在る、索むれば唯自己あるのである、以に婦人の胸には自覺の期が近づいた、否少しく自覺の痕跡を認むるべき或象徴が無いでも無い、茲に取り立て記す程の事も無いながら彼等の社會に革命の氣運が動き初めたりとすべき例證は多々あるのである、併しながら現在は尚男子の玩具たり奴隷たるを免かれない。

東拓營業報告(二)

石出資地は引受後實測の結果は二千八百五十六町歩畑は八百八十七町歩計三千七百四十三町歩となり引受反別に比較して約五割餘の增を見るに至れり前記土地の内漢城府内に於て引受けたるものは大部分漢江の島に沿岸に在り土地肥沃にして果樹蔬菜の栽培に適し前途有望の地なりとす又慶尚南道方面は有名なる米産地にして馬山米昌原米の名は夙に内外に聞へ其格付も常に韓國米の平均相場より一圓高以上にあり殊に其交通に付ては陸には京釜線に聯絡せる鐵道あり海には馬山灣ありて水陸の便利の地なりとす又載寧郡方面は鎭南浦市場に於て無砂米と稱し聲價を有する米穀の産地にして田野展望し本社の經營地のみにても五千町歩餘に上り國内稀に見るところの大耕地なりとす

買收地　本社の土地買收は將來韓農民をして善良なる農村を經營せしむるに適當なる地方又は韓國政府の出資地若は貸借地に近接し其經營の上に便益なる方面を選擇し交通の便否氣候風土の適否地質地味の良否は勿論其權利關係就中小作關係に付ては最も周密なる調査を遂げ後日紛議の生ぜざらんことを期し又其利の點に付ても數年の實收を考査し慎重の調査を加へ他日違算なからんことを期せり而して其成績に就ては後日尚は淺き今日に於て之を言ふは元より早計に失するの嫌なしとせされども本年度の收穫に徵するに何れも不結果を來したるものなきを以て見れば其前途は良好なりと云ふを得べし既に買收を了したるものの左の如し

所在地	田	畑	計
江景方面	二六七町	…町	二六七町
東津江方面	五七七	…	五七七
榮山浦方面	七〇六	二四	七三〇
潭陽方面	一八一	…	一八一
沙里院方面	三三一	三二	三六三
計	二,〇八二	二六六	二,三四八

備考　町以下の反別は切捨掲載す
前記土地の内江景方面は錦江の沿岸に近く交通便利にして土地亦肥沃なり加ふるに附近に貸借地も少からず集團をなして經營上便宜なる地方なり又東津江方面は東津江流域に沿へる平野にして水利の便開け土地肥沃氣候溫和人口比較的稀薄にて榮山江の宮三を用ふべき好適の地なりとす榮山浦方面は榮山江に沿ひ羅州郡の此の面と稱し二個の大集團たり將來の兆ある土地に接近せる方面には日本人の居住千口に垂々とし將來益發展の沿ひあり又潭陽方面も榮山江の上流をなし將來此の流域に發展を爲す基礎を爲せり加ふるに近く三南鐵道の開通の曉に至れは榮山浦江景東津方面と共に鐵道の沿線となり前途々有望の地なりとす又沙里院方面は出資地及貸借地多數存在し買收地は其間に介在し或は隣接し載寧江延津江九月山江に近く灌漑の便備はり土地亦肥沃なりとす

貸借地　韓國政府より第二回以後の拂込に充當するため出資すべき土地は國有地中最も良好なる部分に就き會社に於て豫め選擇保留し置くことを利益なりと認め協定に依り貸貸借を爲せるものなり而して其土地の受領は全部出資地と同一の手續に依り實地立會の上授受をなし是亦幾多の障害なきにあらざりしも本年度内迄に其全部の借入を了せり而して其實測は未だ全部を了せずと雖も既濟の部分に徵するに出資地に於けるときの如く引受面積に對する增步を見るに至れり其貸借料に關しては嚢に日韓兩國政府に於て協定せられたるものありしと雖も實施上適切ならざるものありたるを以て本社は韓國政府と新に協商を遂げ日本政府の承認を得て隆熙二年度(明治四十一年)に於ける韓國政府收入の小作料實收額の八割を以て貸借料と定めたり此方法は實施の結果に徵するに韓國政府に於ても取扱上甚た便利にして本社も亦有利なりしことを認めたり
貸借地の面積は定款所定の韓國政府出資地即ち田五千七百町歩畑五千七百町歩の四分の三なるべき筈なるも貸地調査の結果に依れは畑は適當のもの少なきに依り已を得ず豫め協定したる換算價格に依り田と交換受領したるものにして其反別は左の如し

所在地	田	畑	計
京畿道	一,三七九町	九九六町	二,三七五町
忠清南道	一六八	三二	二〇〇
全羅北道	八六八	[illegible]	[illegible]
全羅南道	八〇	九	[illegible]
慶尚北道	六〇一	二六〇	八六一
慶尚南道	三三	[illegible]	[illegible]
黃海道	二,四二三	三六〇	二,七八六
計	五,五五五	一,七六八	七,二六〇

備考　町以下の反別は切捨掲載す
土地の管理　本社所有の土地又は貸借地は漸次日韓農民をして善良なる農村を組織せしめて之を管理し農事の改善又は土地改良の施設を爲さんと欲し本年度に於て靈島沙里院馬山榮山浦に各出張所を設置したり尚將來各地に之を增設し管理經營上遺憾なからんことを期するの見込なり

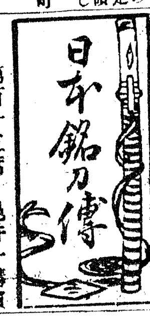
本年氣候と衛生

奧貫衛生課長談

本年も既に漸く危險なる衛生期に近き來れるが幸ひ本年は今の處降雨少く從つて空氣乾燥にして他亦た氣溫も不順ならず總体疫菌の生存は相當の溫度濕度及養分により此三者中一を缺くも尚ほ疫菌は死滅を免れざるものなり流行疫菌中或期の間人体内に潛伏し病徵として顯はれざるものあり夫のコレラの如きも其一にして昨年流行に際し病毒の遺存を防がんが爲め罹疫者は固より其周圍の人士にも病菌携帶有否を充分に精撿し尚ほ且つ發疫地附近は同疫終息の後に於て手の屆く限り檢菌消毒の手段を竭したれば昨年の後始末に就ては萬遺憾なしと信せり されば本年の氣候に於て異變なく且つ各自怠るなくんば先本年は平穩に通過するを得ん歟

●苦力同盟罷工後聞

先日廣梁灣鹽田工事場に於て同盟罷業せし清國苦力九百名の内八百五十四名は本月十二日午後一時鎭南浦發の滊船にて芝罘に向け出發したるが殘餘の苦力は歸國の爲め鎭南浦に到りたるも遂に事に復歸し或は安東縣に陸行せんとし又は鎭南浦に止まり居るもある由又廣梁灣に事に使役する清國苦力三百五十名は十一日夜七時到着したりと



第百十五席　津田近江之守(十九)　邑井一講演

是れからと云ふものは津田近江守助直の名前が非常に高くなりまして今正宗と云ふ名を博するやうになつた、そこでドシ〳〵助直が刀を鍛つて諸國へ賣弘める、是れは助直の名前を一層高くなるやうと思ふからであります、スルとドン〳〵注文が來る。養子の助直の方が評判が好い、もう好い頃と思つたから助廣は助直を召びまして 助「時に直や 直「ハイ、れ父上何事でございます 助「もうそろ〳〵宜からうから例の岡島氏に差上げる刀を作つたら宜からう 直「ハイ、難有う存じます 助「約束通り私が相槌を打つて遣る 直「難有う存じますと、大層に悦びまして是れより助直は三七日の間精進潔齋して、朝夕神佛に願ひを上げ、何うか立派に鍛上げる事の出來まするやうにと、夫れは〳〵熱心なものでございます、さて吉日を撰んで津田親子は仕事場に入り一切他人を入れず、一心不亂にトン、カチン、トン、カチン、テン、テーン、テーンと心を籠めて鍛上げた名刀、實に素晴らしいものが出來た、大刀の方は津田親子合作にて小刀は助直が自身打ち込みました物、地金から何から充分に撰みまして鍛へに鍛へたものでありますから惡るからう筈がない、實に惡るからう筈がない、さて拵へは如何かと申しまするど、鍔は其當時流行の赤銅象眼入、縁頭、切羽、鎺は金象眼、鮫は朝鮮三の切れ、柄は濃紺の綵を以て充分に巻き上げましてスッカリ出來上りましたが、實に美事なものでございます、何樣に捨賣にして三四百兩のものはある、越前守も太に悅びまして 助「助直や實に好く出來たな、さア早く之れを以て赤穗へ參つたら宜からう、弟子を三四人連れて立派にして往くが宜しい」此時近江守助直は「れ父上難有うございますが、何うか其事は手前にお任かせを願ひます、私一人で參りたうございます 助「何故だ、弟子を連れて往つたら好いぢやアないか 直「イエ、私は始めて此方樣へ上りました時の扮裝で參りたうでございます 助「ちやア何かい、伊勢參宮の扮裝で往かうと云ふのかい 直「ハイ 助「夫れは止し……何故さ云ふのに兎にも角にも天子樣の御佩刀迄も鍛つたれ前、如何に何でも伊勢參宮の扮裝は賤からう 助「飾り飾つて參りますと何だか此通り立派になつた、是れ見よと言はぬ計りで氣恥かしうございます 助「夫れもさうだ、ではせめて羽織だけでも着て往くが宜い 直「難有う存じます夫れではさう致しませう」と、津田近江守助直今では弟子の三人や四人伴れて大小を帶し羽織袴で往來しても宜いのでございますが、伊勢參宮の扮裝でも致さうと云ふ位だから、至つて粗末なる木綿の衣類、木綿の羽織、半合羽を身に纒ひ商人のやうな風体をして、彼の大小は立派なる桐の箱に納め、自から之れを背負ひまして、船で播州赤穗へ出立を致しまする、津田方では家内中殘らず途中まで見送り助直は船に乗りまして恙なく着致し、是れより久振にて主人の岡島に面會致すと云ふ御話でございます



東京電報

▲皇太子殿下御差遣

英國先帝エドワード七世陛下の爲め來廿日築地三一會堂に於てマグドナルド氏主催となり遙拜式を行ふに付き天皇陛下には御名代として皇太子殿下を皇后陛下には皇太子妃殿下を御差遣わらせらるゝ趣なるが右は同盟の交誼を重んぜられ特に兩殿下を御使として御差遣相成次第なりと洩れ承はる（十六日）

▲伏見若宮御歸朝期

伏見若宮同妃殿下には十七日英國を辭し米國に御渡航大統領タフト氏と對面一箇月御滯在七月上旬桑港より御乘船御歸朝の途に就かせらるべしと承はる（十六日）

▲御大葬と我陸軍

來二十日エドワード陛下御大葬に付き當日は我陸軍に於ても深厚なる弔砲を發射する筈にて詮議中（同上）

▲本年麥作の良好

本年度麥作全國の收穫は目下の處一般に良好にて平年よりも增收の見込なり過般の暴風雨は幾分の惡影響を與へたるも被害さして大ならず本月末豫想實況を發表せらるべし（同上）

▲清國の損害賠償

杭州暴動に際し我居留民の被害に付き先に我領事より之が要償を求めたるに清國側にては例の城内居留權問題を楯とし之を峻拒したるが今回愈よ我要求を容れ損害を支拂ふべきを以て詳細に調査あり度き旨を我領事に申込み來れり（同上）

▲内務省と貸家市營

内務省に於ては將來衞生及防火上各都邑が市營貸家を建築し之に貧民を收容する方針を取らんことを希望せり（同上）

▲立憲國民黨の遊說

國民黨の河野廣中、島田三郎、木下謙次郎、大久保猪一郎諸氏は大分縣遊說の途に就きたり（同上）

▲各皇族の御參拜

來る廿日故エドワード第七世陛下御大葬當日英國大使主催の遙拜式には皇太子同妃兩殿下が兩陛下の御名代として御參列あらせらるゝ外閑院宮同妃兩殿下、東伏見宮殿下、久邇宮殿下竹田宮同妃殿下、北白川宮同妃殿下朝香宮同妃兩殿下、東久邇宮殿下、御參拜あらせらるゝ事に御治定相成たり（十七日）

▲杉子の統監訪問

片瀨に靜養中なる曾禰統監の病狀宜しからざるを以て樞密院顧問官子爵杉孫七郎氏は今十七日病統監を片瀨に見[illegible]

▲日墨博覽會の準備

來る十月墨西哥に於て開設せらるべき日墨博覽會に對し我國は多數の出品を爲すに決し近く各府縣に對し勸誘すべし（同上）

寄書

京城居留民に告ぐ

京城民團議員　石井　新
同　皆川廣濟

頃日の紙上に據れば民團議員曾我勉君の京龍併合問題を新聞紙上に論議するを不可とする意見書を見たれども余輩は之に反して本問題の如き居留地に取りて最大なる利害休戚の係る事項の講究は宜しく廣く居留民の意向を徵すべくして獨り民團議員の秘密協議のみに委するを妥當ならずとし議員其他の居留民諸君が續々其意見を公表せらるゝを適當なりと信ずるものなり

余輩の意見に依れば併合の結果として京城民團が龍山區域の爲めに負擔を加重するの覺悟なかるべからざるものは

新事業費　約十三萬圓
龍山民團債　約三万圓
經常費增加　約一萬餘圓
税金欠損　約八千圓
借地料損失　約三千圓

にして而かも此負擔は之を京城區域に住する居留民の加重分擔に歸せざるべからざる事實と爲るべし且つ右經常費增加以下の三項は龍山區域の他日大に發達繁榮して財源の充實する時期に至るまでは年々歲々其負擔を免れざるべからず

顧みるに京城民團從來の財政は決して餘裕あるにあらず寧ろ窮乏を告ぐるものあり試みに之を例示すれば（一）民團債十一萬餘圓の償却（二）墓地の完成（三）消防の完成（四）居留地より東大門に通ずる道路の開拓（五）各橫町の下水設備（六）傳染病院の完成（七）長谷川町米倉町附近の道路修繕（八）南大門内外の下水設備（九）明治町永樂町間の道路開拓（十）居留地より南大門に直通道路の開拓（十一）民團地域の土地實測（十二）圖書館の設備（十三）公園の設備（十四）公會堂の設備（十五）本町通の路幅改正等の如き皆是れ財政の許すべき限度に於て緩急を斟酌して漸次之れが實行を期せざるべからざる緊急の事業なるに拘はらず今尚ほ其實現を見ざるは實に財政の豐かならざるに由る外ならず此の用途多端なる財政事情を顧みず今強ひて巨額の負擔加重を忍耐して龍山を併合するの必要果して何の邊に在るか余輩不敏之を發見するに苦む論者或は云ふ龍山にして他日繁榮すれば今の損失を償ふに足らんと是れ一種の豫想なれども余輩未だ其必らず繁榮すべき大原因の敎示を聽くを得ざるを憾む或は云ふ龍山にして京城の一部と爲れば其土地家屋は京城に準して市價を增さん而して京城居留民の龍山に土地家屋を所有し若くは貸借抵當の關係を有する者は自から利益を蒙るべしと是れ一部少數者の私益を標準とするもの固より取るに足らず三萬居留民の公益は以て彼等の犧牲に供するを得ざるなり又或は云ふ隣人なる龍山民團の現狀を坐視するは不仁なりと是れをして宗教社會の說ならしむれば甚だ可ならん唯憾むらくは民團なるものと雖も政治團體なれば利害を離れて人道のみに殉ずるを得ざるを奈何せん或は云ふ政務の統一に便ならんと是れ政府の便宜のみ民團の便宜にあらざるなり民團創立の當初政府が地理人情其他の情狀を量り京龍一體たるべきものに非ずと認めて各別に民團の創立を命じたる以來經驗僅かに三年未だ俄かに龍山獨立の不能を斷定すべからず前述不仁說の如きは龍山を侮辱するの嫌なき能はず又政務統一論に至ては政府をして朝令暮改の譏を招かしめ其威信を損せしめんとするもの共に是れ好事者流の言と評せざるを得ず

余輩は居留民諸君の付托を荷ふて民團の政務に參與するものなれば本問題に關して諸君の輿論如何を知るを得んと望むや切なり

●汚毀券交換取扱方

韓國銀行にては汚染又は毀損せる銀行劵交換取扱方に就き一定の標準なかりしが今回召集の支店出張所長會に付議し左の如く規定せらるべしと云ふ

一、劵面中記號番號二ケ所を存し劵面中央の金額を明かに認め得べきものは全面二分の一以下にても全額を以て交換すべし但し改造一圓劵に在ては右方中部の金額を以て劵面中央の金額と見做し取扱ふものとす

二、分裂したる改造一圓劵に在ては左の通り取扱ふものとす

記號番號及右方中部の金額を明かに認識し得るものにして尚且つ全面の二分の一以上を有するものは全額にて交換すべし

記號番號及右方中部の金額を明かに認識するを得全面二分の一に滿たざる時は半額を以て交換すべし

記號番號及周邊の金額を明かに認識し得るものにして全面二分の一を超ゆるものは半額を以て交換すべし

記號番號及周邊の金額を明かに認識し得るも全面二分の一以下を存するに過ぎざるものは交換を拒絕すべし

●英總領事の追弔祭

京城に於ける「エドワード」七世陛下の弔祭式は既報の如く來る二十日英國總領事館内に於て執行せらるゝ筈なるが當日は總領事ボーナー氏祭主となり英國教會監督主任ビシツプ、ターナー僧正司祭者として同日午後一時より同館庭前に於て壯嚴なる式を擧ぐる筈なるが當日參拜の式に列するものは京城、仁川内に在留の英國人、米國、白耳義、佛國、獨國、淸國及露國等の各領事、日韓高等官、新聞記者其他にして目下仁川港に碇泊中の英國軍艦フロラー號艦長チクラス氏外十數名の將校及び百名の水兵も亦參列する筈なるが軍艦内に於ても軍艦附牧師ローレント氏は殘れる將校及び水兵其他任艦員等と共に同じく午後一時より弔祭式を行ふ筈なり

●鐵道工事と韓人夫

去る四日より京義線改山、金村間一哩四十鎖の改築工事中なるが工事に從事する韓人夫は百五六十名にして賃銀は三十錢乃至四十錢の由にて竣工期は約二ケ月間の豫定なれば韓人夫は非常に悅び監督する日本人夫との折合ひ極めて良好なりといふ

●慶南方面免許漁業

慶尚南道に於ける免許漁業出願件數は三千餘件に達して共願に係るものは一個所に少なくも三四件多きは十餘件の共願者ある由にて復雜を極むる故農商工部にては目下主として此方面に力を注ぎ居れば遲くも六月末までには全部處分するに至るべしと云ふ

●水利組合規則脫稿

既報の如く水利組合規則原案は既に脫稿したるに就き内部地方局に於ては去十六日より審議に附する事となりたり同則中主なる條項は目的、組合區域、組合員資格及び義務、設立手續、監理監督、費用徵收等なりと云ふ

●公鳥間の道路改修

公州及鳥致院内の道路は愈々三萬圓の豫算を以て修築する事に決したり而して其經費の内一万五千圓は國庫より補助し殘一万五千圓は地方費より支出す

●六十三聯隊の演習

步兵第六十三聯隊二中隊は廿五日午前十時より午後三時迄萬里峴及弘濟院附近に於て同廿八日午後七時より同十時迄南山附近に於て發火演習を擧行すと

●參與官の定例會議

十七日午前十時より統監府會議室に定例參與官會議開會出席者は石塚長官の外松井、俵、菊池、鈴木、大屋、倉富、岡本の諸氏

●本年度新築の郡衙

内部は本年度に於て新築すべき郡衙を調査中なりしが愈々五ケ所丈新築する事に決定し一兩日中發表すべし

●定例大臣會議開會

十七日午後一時より統監邸に於て定例大臣會議を開催し協議する處ありたり

●法官の交迭發表

左記法官の交迭發表されたり　十六日附を以て

咸興地方裁判所判事　李東初
補大邱區裁判所判事
慶興區裁判所判事　金秉度
補咸興區裁判所判事
咸興區裁判所判事　富永義通
補金海區裁判所判事
金海區裁判所判事　李祖遠
補密陽區裁判所判事
密陽區裁判所判事　金淇正
補釜山裁判所判事

●大東共報の押收

露領浦潮に於て發行する排日紙大東共報第十五、十六、十八號は共に治安妨害の廉にて發賣頒布を禁止し該紙を押收せられたり

●警遞船の入出港

内部所屬の警遞艇二隻は十六日午後二時璽州より仁川に入港兩三日中龍岩浦に向け出港の筈

●倶樂部評議員會

仁川倶樂部評議員會を來る廿一日午後六時より開會し太田法學士の講話ある筈なりと云ふ

●二等主計の着任

二等主計小梅爲松同長谷川榮一郎兩氏は軍司令部經理部員を命せられ去る十六日着任せり

●支店主任の着任

百三十銀行仁川支店主任山本氏は一昨十六日着任せり

●英國商船の出港

仁川碇舶中の英商船ルチツヤー號は十六日牛莊に向ふ

●松井局長の招宴

松井警務局長は十七日新任警察署長を明月館に招待す

●敍任辭令

左の通り辭令あり
度支部事務官　梶島榮孝
命司計局主計課兼務（十二日附）

勳章贈進の中止

韓廷は朝香、竹田、北白川三宮妃殿下に勳一等瑞鳳章を贈呈する事とし去る十日至急閣卿趙同熙を御使として東京に差遣されたるが趙氏の渡後右勳章に關し重大なる秘密事件暴露したる爲め統監府は東京に打電贈進中止を命せり

取引所設置可決

既報の如く商業會議所に於ける取引所設置問題の調査委員は十六日午後三時より發起人總代山口太兵衞氏と會見して意見を交換したる後引續き委員會を開き發起者は三十万圓の株資金を以て二十萬圓を倉庫に宛て十萬圓を取引所の資金に宛てんとするも假に四分一拂込みとすれば取引所の資金は僅かに二万四千圓に過ぎず斯くては取引所は到底活動する能はざるへく且つ倉庫會社か三十萬圓の補助を得て既に營業しつゝあれは取引所の副業として倉庫業を營むときは自然競爭せざる可からざるに至るを以て見込み立たず寧ろ資本金を猶ほ十萬圓增加して四十萬圓と爲し以て全部を取引所の資金に宛つべしとの說多數を占め大要左の決議を爲たり

一取引所設置は贊成すること
一資本金を增加すること
一倉庫業は否認すること
一可成日本取引所法に準據し監督せられ度きこと

●米價騰貴と生活難

江原道原州地方に於ける米穀は日に月に京城方面へ輸出せられ一方米穀產額の最も寡少なる平昌、寧越、堤川の各郡方面へ吸收せられ例年の夏期に比して以非常なる騰貴を見る從て一方に於ては米穀欠乏よりして各地より逆輸入を爲しつゝあり而して本月初旬に於ける米價は一石下等米は白米入九圓なりしが十日原州財務署が原州橫城兩郡に於ける賭租上米二千五十餘石を止むなく競賣に附せしに其の結果一石十一圓强の割合となり從て市場に於ける米價は公賣當日より一層騰貴して一升の賣價下等米にて十一錢以上となり爲めに同地居住民間に一大恐慌を來し孰も前途を杞憂しつゝあり官憲も目下善後策に就き注意中なりと

●平安北道沿岸漁況

東拓の經營に係る平安北道の漁場に對し目下日本より通漁せるものゝ内鴨綠江口、椒島、鳥島、大和島附近に集中せるアンコウ網は凡そ百七十隻に上り尚ほ續々來漁の模樣あるにより最後の船數は豫定し難しと雖も右現在の漁船に於て本月九日十日より着手せるものゝ漁況を聞くに船一隻一日の收獲多きは二百圓少きも五十圓を下らざるが如き水揚げありて漁類は主としてカナガシラに屬し多きものは一日一萬尾以上を捕獲せるの狀況にて今後盛漁期に達するに從ひ益々增收あるへしとて之等當業者は歡喜以て期待しつゝありと云ふ

●東拓漁業紛擾眞相

東拓會社の漁業に就て其漁獲物の販賣人は大坂の海產商たる伊佐奈商會にして同商會は之れを安東縣の濟商滿起棧號に買辨たらしめて取引を爲さしめ居りたるが在安東縣の我居留地内に於ては從來魚市場の設置ある事なれは同所の我か側及居留民等は之れに抗議を申込みたる爲めに一時は双方の間に紛擾を釀して事態容易ならざりしを以て東拓の林部長は先日同所に急行したるか東拓に於ては其後居留地内の魚市場を買收して事濟となり安東縣に於ては今後二個所の魚市場を見るに至りしと云ふ

●韓銀貨幣發行週報

一、銀行劵總發行平均高（自五月八日至五月十四日）　一三、一六五、三八〇
内正貨準備發行高　五、〇九六、五〇〇
保證準備發行高　八、〇六八、八八〇
二、銀行劵平均手許有高　七六四、九四二
三、銀行劵市場平均流通高　一二、四〇〇、四三八
四、硬貨發行額（五月十四日現在）　六、三三五九、七二五

内	
金貨二十圓	一、八五〇、〇〇〇
同十圓	五〇、〇〇〇
同五圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	九三六、五〇〇
同二十錢	一、四七九、五〇〇
同十錢	一、〇〇五、〇〇〇
白銅貨五錢	一、六四一、二五〇
靑銅貨一錢	二六七、〇九〇
同五厘	八〇、三八五

●石黑男傳習所參觀

石黑男は十九日菊池商工局長の案内にて官立工業傳習所を參觀せらるゝ由

●小倉主計監の檢査

小倉主計監は十七八日の兩日に互りて軍並びに師團の經理檢査を執行す

●韓鐵列車時間變更

來る二十日より韓鐵滊車發着時間の變更及增發左の通り施行せらる
太田午前七時三十五分發北行列車を午前六時發に變更
西大門午後二時四十分發龍山行列車を午後十二時五十五分發に變更
南大門午後二時四十分發龍山行列車及龍山後二時五十五分南大門行增發

●古城民長の出迎

古城民長は中村再發氏と共に石黑男出迎の爲め十七日朝開城へ赴き同夜男と同行歸任したり

●會計檢査官出發

滯京中なりし會計檢查官間縮吾、中村修永、田邊太郎の三氏は十六日出發平壤に向ひたり

●島重次氏の出張

島航路標識管理所長は十六日群山丸にて木浦に出張す

●渡邊案夫氏出發

江原警務部長渡邊案夫氏は十六日出發釜山を經て歸任

●生田書記官歸任

地方視察中の農商工部生田書記官は十七日夜歸任せり

五月十九日の現象（上）

觀測所技師　平田德太郎

已に屢新聞に報せらるゝ如くハレー彗星は我地球より見て來る十九日午前十時五十二分より同十一時五十二分迄に太陽面を西より東に通過し十一時二十二分には太陽の中心に來る可き事は同彗星の運動の兼ねて推算せらるゝ所と能く一致するより見れば先づ誤り無からん、而して其尾の長さは今日迄の觀測にて己に地球に到達するに充分なる程に發達したれば地球の一時星尾中に入る事も亦疑無きが如し、但し地球の尾中に在る時間は尾の太さに依るにて假に十五度の太さとするも六時間内外にて通過し去るべし然れども尾は其光輝により吾人の認め得る所は只一部分なるべければ判然と何時より何時迄尾中に在ると云ふ事は明言し難し以上の推察の如く果して地球が彗星の尾中に入るとすれば其際如何なる現象の起る可きかこれを想像するに先き立ち彗星の尾は如何なるものなるやを知るを要す、尾の物質は水素、窒素、サイアノセン等より成るは分光器的研究により知らるゝ所なるも尾に關する第一の問題は尾は常に太陽と反對の方向に向ふ事なり、元來普通の理論に依れば尾は引力により太陽に引き付けらる可き筈なるに却て其反對なる事に關しては古來解說を下せるもの多きも最近の學說に依るときは太陽の輻射壓に因るとなすを以て最も至當とす、輻射壓とは太陽の輻射線（光、熱、化學作用等をなすもの全部）は此進行方向に向ふて有する壓力なり、此壓力は極めて微少なるも又極微の物子に對しては此壓力の方却て引力に勝るへし、何となれは壓力は面積に比例し引力は體積に比例するか故に例へは大さか二分の一になれは壓力は四分の一に減し引力は八分の一に減す若し又大さか四分の一となれは壓力は十六分の一、引力は六十四分の一となる、斯く漸次微細となるときは終に壓力は引力に勝るを以て反對の方向に放射するに至る、今彗星の尾の物質の密度を〇、八と假定すれは其大さか一「ミリメートル」の一千分の二、五ならは壓力は引力の一、五倍となり若し又一万分の一「ミリメートル」ならは一八、五倍となる、然らは斯かる微細のものありやと云ふに氣體の各分子は概ね一「ミリメートル」の一萬分の一程度のものなり、ラヂウム等の放射物體より放射する電子は更らに其數千倍少なるものなり、故に斯かる微細なる物子は決して不道理なる假定ならず、且つ實際彗星の尾を通して他の星を認め得る等の事實より尾の稀薄なる微粒物子たる事疑なからん（續く）

▲海外法曹▼

北米議會では□ーズベルトに對して郵稅免除を決議したそうだ、世界中郵稅免除の特典を有する者は軍隊より外にはあるまい、特典と云へば救世軍のブース大將は倫敦の自由市民權を與へられて居る、今一つ我河口慧海も其鄕里で同權を與へられて居る筈だ▲法權子は昨紙誌の繪看板の事を書いたが、近着の大阪新聞には滿快丸の看板に大隈伯の演說會が出て居る、日本で一番廣告に機敏なのは藥屋である▲大隈伯は二週間關西を旅行する間に四十回の演說を爲た其中で大坂の一日八回が一番多い、尤も旅館や汽車中の演說的座談は別物だ、何んと豪らい者ではないか▲十七日入京した石黑團觸博士杯も隨分饒舌だか往々言ふ事に粕がある、隈伯のは一言一句其唾迄が玉になつて出るのだから大した違ひだ、尤も團觸博士も豪らいには違ひない、望運で至る處團滿に優待を受けて居る▲近來宮内府の失體が屢々傳へられる、今度の勳章問題杯も中々重大である、併し之を一々素破拔くのも考へものだから暫時遠慮をしよう、其内に日本の新聞が報導するから但し燈臺下暗しではない▲自身の體だに火が附き掛けると中々外の事杯に氣の附くものではない、丁度三保松君の境遇が其通りだから失體の續出するも是非がない、何しろ親分の進退問題がブラツイて居るのだから▲彗星が近づいて來た、色々な迷說が起つて危懼を抱いて居る者も多い、殊に韓人間には仕事もせずに時の來るを待つて居る者が澤山あるそうだ、天變地異元より測り知れざれども此時に當り別項所載平田技師の學說を是非一讀して貰度い。

名妓洗髪のれ妻(二)

▽再緣しなけりや殺す
▽玄洋社の憲法に違反

が喧だ其だけぢや私の眞實の心が頭さんに通じはしないのですからね、其上頭さんに世話になつてゐて我儘をしてゐるから、ツイ其からとは云へ市村との仲も切れないのだと思ひまして、私は藝者を退いて了はうと思つたのですが、相も變らすの貧乏ですから、當り前から云へば引込祝が出來ないが、私の氣性、花の家れ妻が何日の間か知ぬ間に廢業したなど云はれるのが業腹ですからね、其時はもう二度と再び藝者にはならない積りだつたので少しは派手にしてれ妻の引込祝と後での語り草とされたいなど、まだ中々茶氣もあれば芝居氣もあつたもの、直ぐ吉田屋の女將さんに賴み込で千圓といふれ金を借りて來ました、其れで魚子の反物を仕込んで箱屋に配るなど伊達を盡したのですがね▲此れが又大變な事になつて了つたといふのは、餘りに引込みやうが業々しかつたので、一寸評判になると共に頭さんが結社の玄洋社の人達が喧ましく云ひ出しましてね、九州からあの杉山茂丸さんだとか神藤喜三太さんなんかの豪傑連中が上京して私を捉へて殺して了ふといふ騷、何故殺されるのかと思ひましたら、藝者を引込ますなどが玄洋社の憲法に違反する事だといふので難しいのでしたわ、再び勤めをしろと有仰る、藝者を廢て頭さんとの關係が切れなければ、妾どいふ譯だらうが、夫れが善くないのだと云はれたので仕方が無い私は引込祝をした翌る日又もや左褄を執らねばならぬ事になりまして、頭さんの方は其れで事濟みでしたが、濟まぬは市村との仲ですわ、私も困つたね、斯うなれば矢つ張未練があるのですね▲頭さんなり玄洋社々中の杉山茂丸さんなりは、私が温順に二度と藝者になつて、すつぱりと頭さんとも切れたので、事は無事に濟んで了ひましたが、私の心が濟まぬ、胸の中ぢや頭さんと市村とが、私とが高字巴となつてグル〳〵と堂々廻りをしてゐるといふ始末でした、如何になんでも頭さんとの關係が其んなで市村との關係を繋いで行く譯にも行きませんが、心の内ぢやまだ〳〵未練はあるといふもの、然しね、私が御親類筋の連名帳を繰つて見ると市村は情夫といふ位附であるのは勿論ですがね、深かつた旦那(ニ)はといふと、梅山さんでもなければ古賀さんでもない、矢張頭さんですからね、其上前に話したやうな事情で、文句が言はれないで髮まで剪られたのですから、此頭さんの事を伊藤の御前に惡く云れると厭な氣持になつて果てはムカ〳〵して、頭さんは其んな人ぢやありませんよと、冷かされる度びに向になつて言ふのです。

名門二人警部

▽村上さんと堀さんと

當地警察部内に名門警部又は貴族警部と綽名を呼ばるゝ二人者あり全体誰れの代名詞かと物好きにも探つて見たるに一は元西部署警部にして署長鈴木警視に侃々の議を呈し不幸にして說容れられざるや病と稱して殆んど二箇月に涉りて引き籠りたる程の硬骨漢現の鋼峴分署長村上幸雄君にして一は日本警視廳より韓國警視廳に轉任し來りたる騎馬警部堀行衛君とこそは知られたり、さる程に何故あつて此の二人者を名門警部の貴族警部のと呼ぶかと云ふに村上君の嚴父は良二千石の稱ある福井縣知事にして聞く處に依れば若林總監は曾つて氏が嚴父の下に書記官たりしことありとか氏は其の長男にして容姿又堂々たる美丈夫なるが爲なり堀氏の實兄は大浦の大臣が女婿にして其の秘書官たりと而して此の二人者は揃ひも揃ふて萬事鷹揚に涉らせらるゝが爲め扮てこう口善惡なき京童の口より褒めたやら貶したやら譯の分らぬ綽名を冠らせらるゝに至りしものとかさるにても堀氏は馬に一鞭くれ村上氏は長脚に馬力をかけ隨分急いで行かなくてはれ父さんや兄さんの姿は何所へか雲隱れして追つ附きこそなるべしさと心配して居る人もありとか

彗星來と李鳳來

▽李朝衰亡の危機迫る

李範允の門下にして曾つて內部協辨たりし時事に坐して檢事局の取調べを受けたることある李鳳來はハレー彗星の出現を以て李朝衰亡の兆なりとなし眼前其の末路を見るに忍びずとて數萬圓の家產を擧げて近々間島に移住せん準備中なりと云ふが思ふに彼れは之れに藉口して跡を間島方面に晦まし密々何事か畫策する所あらんとするものゝ如しと傳ふるものあるが如何にや

●英皇御大葬ご音曲

▽當日一日音曲禁止

英皇帝陛下崩御大葬擧行式二十日に決定せられしに付同日は弔禮を表する爲め半旗を擧げ歌舞伎音曲禁止さる

女振り

平山牧場主婦　平山はな子

場主平山政十氏の夫人である、政十君は長崎縣の產で住居は大和町一丁目、平山君今回北海道函館のトラピスト教會附屬牧場其他から乳牛七頭と種牛一頭を輸入し最新の發明に係るグルベルス消毒試驗器をも購入して大發展を策して居る、此所で一寸紹介したいのはトラピスト教會から買入れた種牛の偉大なることである、身長一丈一尺八寸即ち約二間、丈が六尺一寸、ホルスタイン種で名はオレンヂと言ひ重量實に二噸と注せらるゝ逸物である、偉大とも何とも云へぬ美事なものである此を買入れるのに平山君三日三晩寢ずに考へたのは實際だ、主婦はな子は大分縣早速郡の產で本年芳紀正に二十二れ優しい美人で加ふるに裙を襲げて屆人同樣朝も暗い間から忠實しく立ち働かれる、長男が八歲で次が六歲の女兒があるが此れは三十九年に死亡られた先夫人の遺子である、はな子君若いに似ず善く此の二人の面倒を見らるゝ、平山君も嘸かし滿足の事であらふ、はな子君が平山氏に嫁がれたのは明治四十一年の事であるとか、朝夕の散步の途次彼の偉大なる種牛を見旁々同牧場を訪はれて其の主婦振りを實檢せられたい。

●食糧品商組合設立

▽從來の惡風刈除

京城在住食糧品御商間には是迄種々なる弊害あり或は價格の高低若しくは內地より輸入し來りたる物品の腐敗せるをも顧みず小賣人に卸し爲めに買受人の迷惑する事屢々あり又卸商人達は競爭販賣爲すより小賣人は甲の卸商を倒しては乙の卸商に移り又は丙に移る等のことあり卸商人は甲乙双方感情を惡しくする等の弊あるより今般其の筋の許可を得て該組合規約を締結したるが趣意は右等の弊害撲滅の爲めなりと

●美人の女房が惡い

▽韓人好色者の暴言

西部仁達坊內資洞九十三統五戶鄭顯元(三二)と云ふは頗る附の好色者とて一人計りの女房では物足らずチョイ〳〵近所の人の女房に手を出してはツドンブドンと遠慮なく肱鐵砲を食はされても當人更らに何んとも思はず緣がないのだと淡白思ひ切り他樣に發展せんと計畫中れ目に止まつたのが積善坊工後洞の韓相翼の妻林姓女(三〇)にて去る十六日宛も相翼の不在を覗ひ水を呑ませて呉れとて這入り込み樣子を伺つて怪しからぬ暴動に及ばんとせしより林姓女は大聲發して救を求め居たる際夫の顯元が歸宅せしより其の不都合を詰りたるに他人の目に附く樣な女房を持つてるから惡いのだなぞ暴言を吐き散らすより西部署に突き出され目下同署に於て强姦未遂犯として取調べ中なりと云ふ

●傷人犯ご執行猶豫

▽洗濯屋と理髮職人の喧嘩

旭町二丁目洗濯業島田勘次郎方雇人廣島縣人小林近平同雇人山口縣人末次忠次同東京府生れ三宅貞雄同町田中洗濯屋雇人福岡縣人川原武雄鐘路通り笹本洗濯屋雇人熊本縣人白石和四郎の五人が本年四月十五日午後十一時頃酩酊の結果太平町通りにて若草町一丁目某雜貨屋雇人久保光次日出町理髮屋小舘安太郎及韓人一名と出會し小林等より喧嘩を吹き掛け遂に小刀を以て久保等を斬付け或は毆打し負傷せしめたる事件は京城地方裁判所に於て審理中の處十六日小林は懲役五箇月末次川原白石三宅は懲役各二箇月に處せられ各三箇年間刑の執行猶豫の特典を與へられたり

●橫領犯者の判決

旭町一丁目三十二番戶料理屋豐田つる方雇人中野要太郎(四三)が旭町一丁目の田中なをなる者より依賴を受け大邱東門內新町麻坂質店へ入質中の衣類受出しの爲め本年二月二十八日自分名義にて元利金十七圓五十錢を送附したるに既に流質したる爲め該金を返送し來りたるを太平町郵便所より受取りたるまゝ酒色に費消し更らに三月二十八日同人より長崎市今町山下質店に入質中の衣類受出しの依賴を受け元利金五十圓を請取り小爲替十枚を組み內一枚丈けを利金として送附し殘餘九枚即ち四十五圓は旭町飲食店加納さい及大和町大和亭に飲食代として交付し尙は三枚は龍山局にて現金を請取り費消したる件は京城地方裁判所に於て審理中の所十六日懲役四ケ月に處する旨判決言渡しありたり

●老父より說諭願

原籍兵庫縣神戸市旭通り五丁目七番戶當時北米倉町に居住の酒井植楠(三六)は鄕里に六十有余の老父及妻並に當年十二才を頭に男女三人の子供を遺棄して數年前より神戸の某料理屋仲居と關係を付け之れを伴ひ無斷家出渡韓せし儘宿許には何の音信も爲さず爲めに老父及妻は苦心して子供を養育中不幸にも老父も老弱して仕事も出來ず妻も病氣に罹り植楠の長男正勝も病氣にて一家悲慘慘憺たる境遇に陷入りし明治四十二年八月中より北米倉町に居住し居る事分明せし植楠が現時の妻の姉の宅へ音信したるより其の後幾度か老父より音信せしも一回も返信爲さゞるより老父堪平より今回說諭願提起せりと云ふ

●婦人の無錢宿泊

原籍福岡縣小倉市旭町十六番地坂田はる(三四)は本月二日開城より安藤ならなる者と同伴して北米倉町櫻家旅館に止宿し十三日宿主より宿料請求せしに知人の內へ調達依賴しあるに付受取りに行くと同家女中の洋傘一本借り受け家出の儘行衛不明となりしより櫻家旅館主權野より十六日西部署へ其の旨告訴せりと

●竊盜嫌疑者捕る

南部往十里上大井洞空瓶買金昌涸(二二)は櫻井町七十一番戶の十四尾池禹一郎方に侵入せしより竊盜嫌疑者として寧洞分遣所に

●掃除

仁川日本市街に於ける春季大掃除は來る二十日を以て結了する豫定なるが更らに二十一日よりは韓人部落に向つて淸潔法を勵行する筈なり

●玉突

仁川俱樂部にては來る廿日より三日間春季玉突會を催ふさるゝ筈

赤十字支部大會彙報

赤十字京城支部大會の次第は既報したる如くなるが猶ほ下の如き設備ありと云ふ▲救護所の設置　大會當日正門內に救護所を設置し韓國支部所管の救急函其の他藥品材料等の陳列を爲し一般の參觀に供す▲來賓及協贊委員に對する當日の徽章は會場受附に於て交附する筈▲會場の略圖　會場正門內に略圖を揭げ式場其の他模擬店等の所在地を指示する筈なれば來會者は之れに就き詳細承了せられたし▲石黑常議員の祝辭　當日男爵の祝辭は特に漢城府尹張憲植氏に於て通譯の勞を執るらるべしと▲當日の餘興　既報中券藝妓の手踊の外韓妓の劍舞及僧舞等は見物なるべし▲模擬店　うどん、そばや、汁粉屋、おでんや、香茶どだんごや、ビール、サイダー、平野水等の飲料店等にして式終了後直に開店の筈なれば來會者は隨意同店に赴かるべしと▲烟火の打揚　午後二時開會前合圖として好盛園に於て數發の煙火を打揚ぐる筈なれば定刻に遲れざる樣參會せらたし

目と耳

▲總會の次第　一般社員に頒布しあり更に當日の次第書は左の如し　一開會(爆竹を以て信號す)一來賓社員一同式場に整列、一奏樂(君が代、韓國々歌)、一支部長の式辭、一總長の告辭、一支部狀況報告、一社長祝電朗讀、一石黑常議員の演說、一來賓祝辭、一支部所屬社員總代の答辭、一石黑常議員の特別社員授與式、一大日本赤十字社萬歲(三唱)、一模擬店開始、一餘興手踊開始、一散會隨意

▲歌舞伎座　十八日の替狂言は好劇家のた好に依り佐藤紅綠氏作『人の親』を再度上場する由にて役割如左　氏原米子(野村)氏原種子(澤井)夫人龍子(福澤)女中れ龜(石井)氏原慶五郎(內田)氏原健一(榎本)社員岩淵(寺田)富澤伯(桃井)馬丁金太(渡邊)書生(富士井)漁夫幸兵衛(木村)

▲壽座　同座十八日の替り狂言は中村歌若の十八番狂言『四谷怪談』た岩戶板返し』にして歌若はれ岩、與茂七、小平次の三役早替りにて御覽に入れるべしと元來同狂言は故中村歌之助より讓り物なりと尙ほ午後五時迄に入場せらるゝ方に限り半額券を呈すと云ふ女房れ岩、與茂七、小佛小平(歌若)女房れ花、下女れ政(正三郎)娘れ袖(內匠之助)伊東喜平、赤垣源藏(三之助)れ熊婆母(千之助)直助權兵衛、小靈田又之進(竹三郎)秋山長兵衛(扇次郎)關口五郎(荒次)按摩宅悅、四つ谷左門(九十郎)百姓喜平(芝十郎)民谷伊右衛門(大合)

▲浪花館　十八日の演物は左の如くにして若遊三の味噌倉は大切の所作事と共に當夜の觀物聞物なるべし　高宮川(若三郎)やかん(若明)豐竹屋崇禪寺足場(奕三)軸賞め(文喬)喜劇每晩替り(座員總出)味噌倉(若遊三)大切所作事電氣應用

▲平民文庫▼

▲京城ホテルの主人は抑も如何なる人物ぞ電話を掛けて在不在を問ひしに小僧なるべし答へて曰く只今一寸御出かけになりまして御坐いますが君は誰れだい今少し早く掛けて呉れゝば居らつしやつたのにと相手が如何なる人なりやをも知らず主客顚倒せる物言ひをなすこれも主人が惡いからだ(一書生)▲京城局にて五十錢銀貨を出し十五錢切手二枚求め電報を出し程經て剩錢を受取らざりしに心付き請求せし處知らんよと云へり、又十六日葉書を求めし處百枚の內二枚不足御掛りのれ手許拜見仕り度し(被害者)▲本月七八日頃一韓人が本町一丁目三巴酒店內に据付けある水道ポンプを物珍らし氣に眺めて居た處二十三四位の若店員は何んと思つたか筒先を少年に向け無法にも全身に水を浴せ掛けた店主より御注意を願ふ(平民將軍改鈍天坊)▲吉野君少し斗り貯めた金で山陽亭の千代子に浮れて居る相だが故鄕の父や妻子の事を思つたら改心せよ(テの字)▲近頃米倉町の成る井戸端に引き移つて來た若夫婦は每夜三味線彈て大騷ぎ女と云ふは湯豆腐屋とやらに居たものなりとか(天眼坊)▲御注進先生よ、君は浪花館の若遊三の落語は聞けぬと投書されたが芊ほりには上手下手は判るまい知たふりをすると人が笑ひますよ(京城の江戶子)▲芊ほりは烈しいナア何方も負けずに大に行れウシ〳〵(小僧)▲平氏文庫小僧君に問ふ『每日の總け苦情も耳にたこ有象無象の寢言と歿聞く』昨今の南山公園に題し『桃もなく櫻もちりし南山に星やすみれの咲きほこりける』酌婦連に呈す『でこぼこの顏にたしろいところはげ地圖を見るよな淫賣の面』(ヘナブリ生)▲大坂に居る時は平野町へ每晩の樣に落語を聞きに行きしも當地へ來りて以來聞きたくて落語家の來京を待ち居りしに今度明治町へ若遊三が來たので僕は每晩行く(待ちこがれ生)▲何うも有難う(小僧)

●天氣豫報(自十七日午後六時 至十八日午後六時)

南東風曇少雨後晴

十六日(華氏)　最高溫度 七八、五　最低溫度 六〇、四

제407호 1910. 5. 18.